



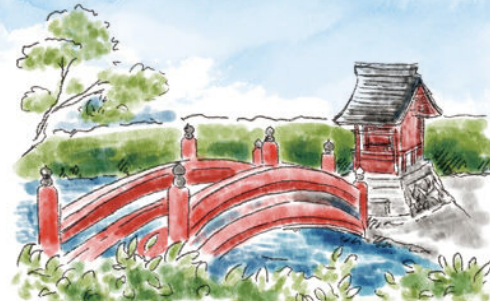
歩いて発見 谷田部 街道めぐり 谷田部の石仏・石塔。

地図内の数字について

00 各石像の数字は、地図内の位置を示しています。

00 写真やイラストにて紹介した石像の場所です。

00 誌面の構成上、紹介していないが、他にも石像があります。



医王寺

94 内町の石祠



八坂神社の境内にあつて、高さ68cm、幅37cmの大六天。石碑には文政4年4月吉日（1821年）の記録があり、常陸国筑波郡谷田部施主証存となつており台石には元禄16年11月吉日（1706年）、石祠の方は古くなつたものを新たに建て直したものか。



83 台町長徳寺の双体道祖神

道祖神は道路脇や神社等の入口に道の神、旅行の神、病魔退散の神として祀られ、二人並んだ夫婦の形をとり合掌の姿で並んでいる。谷田部地区では僅かに一体で極めて貴重なものである。



64 内町の庚申塔



内町八幡神社の境内に二基設置している。一基は万延2年9月（1861年）、もう一基は大正9年10月（1920年）に建立、どちらも「庚申塔」の文字が刻字されている。



62 不動並木の庚申塔

毎夜、猿が出て大変騒いだという夢を付近の人々が見たので、現在地に鄭重に遷したら猿の姿は消えたという。万延元年庚申9月吉日（1859年）造立。

25 下萱丸の勢至菩薩

下萱丸集会所に三体並んでいる、向かつて左側の菩薩。高さ87cm、幅35cmの舟型光背浮彫立像で造立は延宝元年10月19日（1673年）。

1 4 5 34 47 54 65 76 84

上萱丸集会所

25 6 7 26 63 69 96 117

下萱丸集会所



八坂神社をスタートして開催される祇園祭

66 3 27 37 38 39

飯田中野生活改善センター

セブンイレブン

33 羽成の馬頭観音像



羽成観音堂の後方中央の、高さ50cm、幅30cm、厚さ16cmの板駒型浮彫立像。一面六臂で頭部には馬頭を載ぎ、やや俯き加減で前の両手は合掌している。後の二臂は剣と宝輪を捧げ邪鬼らしいものの上に立っている。造立年代不詳。

16 28 46 56 57 92

境松集会所

23 44 60 61 74 75 80 89 90 91

境田研修センター

境松

9 10 20 45 110

羽成観音

羽成



羽成観音

87 88

東丸山集会所

東丸山

サイエンス通り

49 53

遠見塚

境田

野村運送

国際ロジテック

沼尻産業 谷田部物流センター

谷田部IC

常磐自動車道



五角堂と和時計

29 13 14 15 21 22 43 50 70 71 100

不動町集会所

62

不動並木跡

68 72 101 112

新福研修センター

五角堂と和時計

明超寺

谷田部十字路

陣屋の玄関



国道354号線



81 95 98

西町集会所

新都市中央通り

下萱丸

上萱丸

西谷田川

ヨークベニマル

片田

片田入口三叉路

77 85 86 97

片田集落センター

36 19 35 51

常磐自動車道